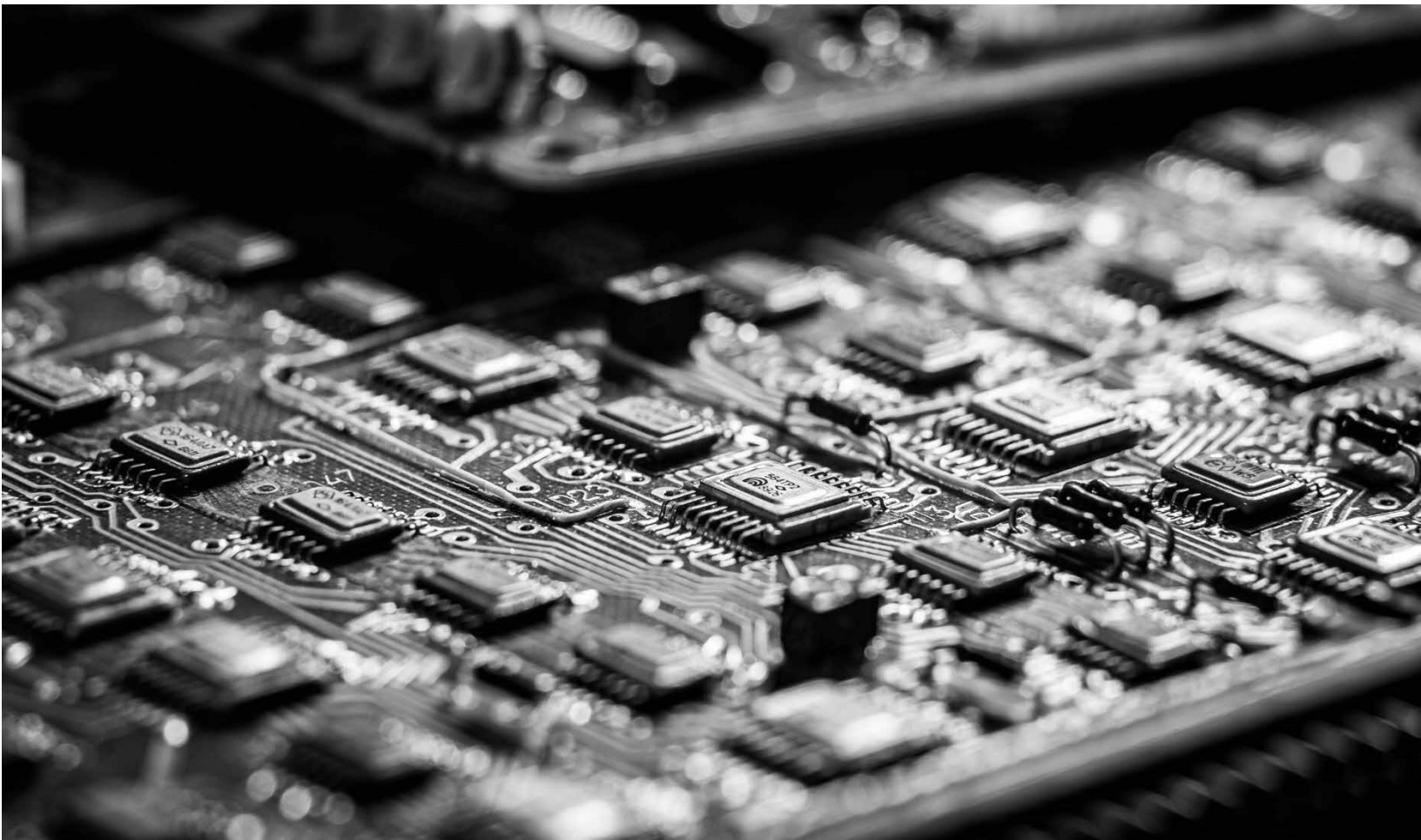


□ ■ タイにおける世界の半導体産業の将来と次の一歩 ■ □



こんにちは。島根ビジネスサポート・オフィスのタイ人スタッフ、グラフです。

現在の世界的な半導体不足危機は、最初は電気自動車業界だけに影響を及ぼしていましたが、その衝撃はスマートフォン、タブレット、コンピューター、ゲーム機器、さまざまな IoT 機器にまで広がっています

半導体不足危機は、世界市場での半導体の需要が急速に高まっているため、短期間で終わる可能性は低いと思われます。タイの半導体産業における立場と、タイにおける半導体産業のビジネスチャンスについてお話ししたいと思います。

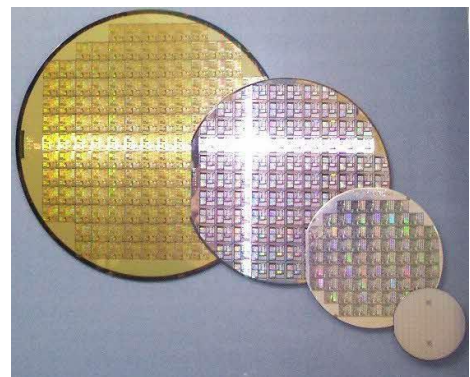
### ・半導体産業の現状

半導体産業は需要と供給のアンバランスに直面しており、デジタル経済への移行による需要の急増と、サプライチェーンの問題が深刻です。米中の技術戦争、コロナウイルス感染症の世界的大流行、ロシアとウクライナの紛争などが原因でサプライチェーンが混乱し、原材料価格が上昇しています。需要と供給の不均衡は生産量の回復である部分改善されていますが、世界経済の回復に伴い需要が再び増加する傾向にあるため、サプライチェーンは引き続き多くのリスクに直面している状況です。今後も半導体の世界的な需要と供給のバランスに注目する必要があります。

### ・タイは世界の半導体サプライチェーンでどの位置に立つのでしょうか

地政学的な対立から生じる世界のサプライチェーンの変化が、タイへの半導体生産拠点の一部移転を促し、国内の半導体部品生産業界への投資を促進しています。アメリカが中国からの半導体関連製品の輸入を減らし、ASEAN 諸国からの輸入を始めたため、その比率は全輸入の約 42%に達しています。タイからの輸入も含まれており、タイからアメリカ市場への半導体関連製品の輸出額が増加していることが反映されています。アメリカでも毎年、半導体産業への投資拡大の傾向と一致しています。また、電気自動車産業や電子産業など、世界市場および国内市場での半導体需要の増加と、将来のサプライチェーンの問題に対する懸念が、製造業者による中国からの生産拠点の移転と ASEAN 諸国への投資探求の大きな動機となっています。

SCB EIC (SCB Economic Intelligence Center) ※<sup>1</sup>は、タイの半導体産業が将来的に、フロントエンドやより複雑なバックエンド※<sup>2</sup>の生産者へと発展する可能性が高いと予測しています。外国からの投資拡大と BOI (タイ投資委員会) の支援策によって後押しされている状況です。現在、タイの半導体企業の約 70%が外資系企業で構成されており、これらの企業はチップパッケージング※<sup>3</sup>、ウエハー※<sup>4</sup>の切断 (Dicing process)、チップ組立などのサービスに注力しています。主な外資系企業にはアメリカのマイクロンやマキシム、オランダの NXP、日本のソニーや東芝、韓国の KEC、シンガポールの UTAC などがあります。タイの半導体産業は原材料および技術の輸入に依存しており、ベトナムやインドと同様のレベルに位置しています。現在、タイ国内の半導体企業 12 社が、従来のチップパッケージングサービスか



ウエハー

ら、よりアップストリームの生産プロセスへと投資を拡大し始めており、ソニー、東芝、KEC などとその例として挙げられます。

※ 1 : SCB Economic Intelligence Center (SCB EIC) はタイのサイアム商業銀行の下部組織です。マクロ経済に関する深い分析データを提供し、産業部門への影響について経営者に情報を提供することで、効果的な意思決定をサポートするために設立されました。

※ 2 : 「フロントエンド」は、シリコンウエハーにトランジスタ層を形成するまでの工程、「バックエンド」は多層配線層を形成するまでの工程です。

※ 3 : 「チップパッケージング」とは、半導体チップを搭載する電子機器に適した形態にするプロセス。

※ 4 : 「ウエハー」とは、IC チップ（半導体集積回路）の材料となる、半導体物質の結晶でできた円形の薄い板。

将来的にタイは半導体産業において、より高いレベルのサプライチェーンへと進化する可能性があると考えられています。マレーシアと同等の複雑なチップのパッケージング、組み立て、テスト（バックエンドプロセス）ができるようになり。また、中国の 10 ナノメートル以上の半導体チップ製造技術レベルと並び、シリコンウエハー（フロントエンドプロセス）の生産プロセスの開発も進んでいます。タイは長年にわたりプリント基板、半導体デバイスなどなど、世界市場で重要な電子部品組み立て基地としての地位を築き、ASEAN の競合国に対して優位に立っている上、インフラ面でも優れています。

現在、マレーシアには Intel（アメリカ）、AT&S（オーストリア）、ASE（台湾）などの外資系大企業が進出し、半導体サプライチェーンの一部となっています。国家の政策や BOI の半導体製造部門のインセンティブ増加により、タイも同様に、電子部品製造業界での半導体サプライチェーン関連の開発を行い、大手投資家からの関心を引いています。インセンティブの対象はウエハーの製造、半導体部品の製造など、サプライチェーン全体をカバーしています。さらに、世界の電子部品サプライチェーンの生産基地の移動により、外資系投資家がタイの半導体産業に投資しており、フロントエンド（日本/韓国）、バックエンドのチップパッケージングサービス（アメリカ）、半導体関連産業（台湾/中国）が進出しています。2023 年上半期の BOI データによると、電気機器および電子機器への投資促進プロジェクトの大部分が外資系で、総額約 107,688 億バーツに達し、その中には半導体デバイスや集積回路の製造・テストに関連する 5 つのプロジェクトが含まれ、総投資額の約 12%に相当する 12,957 億バーツが投資されています。

▶ 半導体および関連産業向けの恩典パッケージ



半導体および関連産業向けの恩典パッケージ

出典：BOI

・最後に

今後、タイの半導体産業の拡大と、世界市場での半導体部品の需要増加に伴い、タイの半導体部品の輸出額が増大するでしょう。特に、タイでは電気自動車産業や電子産業など、半導体部品が重要なコンポーネントである産業が拡大しており、半導体の需要がさらに高くなります。加えて、国家の政策やBOIの半導体製造部門のインセンティブ増加により、タイ進出ご検討の半導体関連産業にとって、かなり魅力的な国になると言えそうです。

参考1：[https://www.boi.go.th/upload/content/FDI\\_Summary-Jan-Jun%202023\\_64c20fde188f0.pdf](https://www.boi.go.th/upload/content/FDI_Summary-Jan-Jun%202023_64c20fde188f0.pdf)

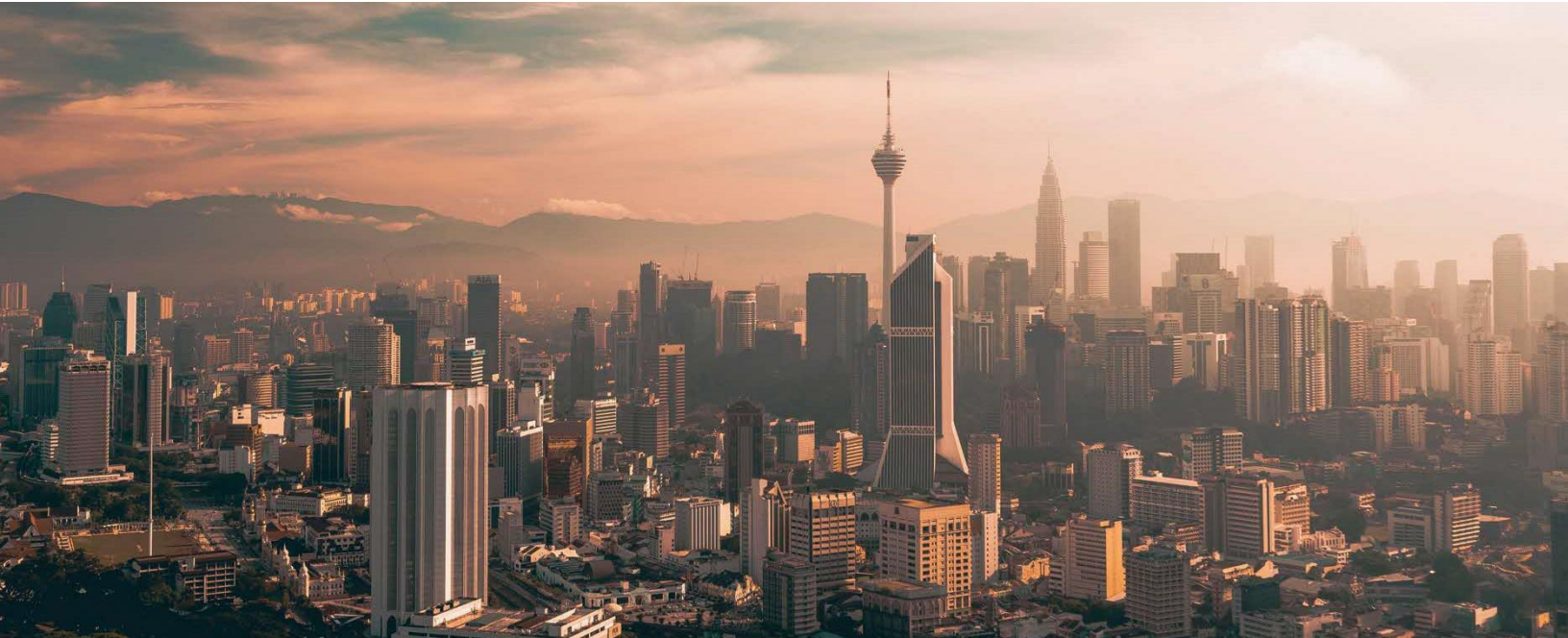
参考2：<https://www.scbeic.com/th/detail/file/product/9212/gph9ltplqg/SCB-EIC-In-Focus-Semiconductor-20230919.pdf>

参考3：<https://www.boi.go.th/upload/content/semiconductorTH.pdf>

参考4：  
[https://www.boi.go.th/upload/content/BOI%20New%20Investment%20Promotion%20Policy%20for%20Smart%20Electronics%20Industry\\_Japanese.pdf](https://www.boi.go.th/upload/content/BOI%20New%20Investment%20Promotion%20Policy%20for%20Smart%20Electronics%20Industry_Japanese.pdf)



□ ■ マレーシアのデジタル経済 ■ □



こんにちは。島根・ビジネスサポート・オフィスの柴田です。

新型コロナウイルス感染症の流行は世界中に様々な影響を及ぼしました。コロナウイルスの前後で日常生活は大きく変わったように思います。

そんな中で、生活様式の変革に伴い、特に大きな成長を遂げたのが IT 業界です。日本国内だけでなく、世界中でテレワークやリモートワークが急速に広がり、人との接触が制限されました。これにより、企業の事業運営における IT の活用だけでなく、私たちの日常生活にも広く IT の導入が進みました。AI（人工知能）やビッグデータといった DX（デジタルトランスフォーメーション）業界に関する話題を耳にする機会も増えてきているのではないのでしょうか。IT の重要性の高まりを受けて、東南アジア各国でも自国の IT 業界の成長や人材の育成に力を入れています。

マレーシアも例に漏れず、恩典の付与やビザの優遇など、政府として海外からの IT 企業誘致に積極的です。今回は、そんなマレーシアの IT 業界に対する政府の施策についてご紹介させていただきます。

### 【マレーシアの市場概況】

まずは、マレーシアという国について簡単にご紹介いたします。人口は約 3,350 万人で ASEAN10 カ国のうち第 6 位、全体の約 5%を占めます。マレーシアは多民族国家として知られており、マレー系、中華系とインド系が共生しています。

人口はインドネシアやタイ、ベトナムと比べると小さいですが、2022 年の 1 人あたり GDP は 11,972 米ドルと、シンガポールとブルネイに次いで第 3 位に位置しています。富裕層が多いことから、消費市場としてのマレーシアへの注目度は高いです。

主要産業としては、長きに渡って半導体産業のハブとしての地位を維持しており、シンガポールとタイに挟まれた好立地から、製造業（特に電機・電子機器）の ASEAN 拠点として同国にオフィスや工場を構える企業も多くいます。

また、マレーシアは財団法人ロングステイ財団による「住みたい国ランキング」で、2012 年から連続で 1 位に選ばれている非常に人気の高い国です。大きな理由としては、日本と比べると物価が安い一方で、タイやベトナムなどの国と比べても生活水準が高い点があげられます。また、前述の通り多民族国家であるため、移住者への差別が少なく寛容である点、英語が通じる点も人気の理由です。

### 【マレーシア・デジタルエコノミー公社（MDEC）】

2020 年にはマレーシアの GDP のうち 22.6%を占めたデジタル経済ですが、2025 年までに 25.5%を超えると予測をされています。このデジタル経済を促進・支援することを目的として、1996 年 6 月に設立されたのが、通信・マルチメディア省傘下の政府機関であるマレーシア・デジタルエコノミー公社（MDEC）です

MDEC はデジタル分野における投資の促進、デジタル・イノベーションを活性化する環境づくり、デジタル・イノベーションの発信や技術者の育成など同分野に関連する幅広い活動を行っています。

ここでは、MDEC が実施しているプロジェクトや制度についてご紹介いたします。

### マルチメディア・スーパー・コリドー (MSC)

MDEC 設立当初から実施されているプロジェクトがマルチメディア・スーパー・コリドー (MSC) です。このプロジェクトは第 4 代、第 7 代と 2 度同国の首相を務めたマハティール元首相が、クアラルンプール及びその近郊地域をアジア版のシリコンバレーにすることを目指し開始した計画です。クアラルンプールの新行政都市「ブトラジャヤ」、先端技術都市「サイバージャヤ」、クアラルンプール国際空港(KLIA)、ペトロナス・ツインタワーを核とする商業施設 (KLCC) を含むエリアを経済特区として定め、域内での IT 開発を促進するものです。



プロジェクトの実施に合わせて域内のインフラ整備も行われました。その他にも税制優遇、外国人労働者雇用や外資出資比率に関する規制緩和などにより、外国企業誘致を含めた情報産業の集積・発展を図ったのが同プロジェクトです。

### MSC ステータス

投資奨励の施策として、条件をクリアした企業には「MSC ステータス」が付与され、ステータスを持つ企業には様々な優遇を受けられる枠組みづくりがされました。

#### 主な優遇措置

- 1)10 年間の法定所得の全額免税
- 2)外国人知的労働者の雇用制限の撤廃
- 3)外資規制の撤廃
- 4)インターネットに対する検閲を行わない

MSC ステータスを与えられた企業は政府が指定する建物・エリアに事業所を設立することが必須の条件となっております。指定の建物にはクアラルンプールのサイバージャヤ、クアラルンプール・シティ・センター(KLCC)、クアラルンプールタワーなどが含まれています。

### マレーシア・デジタル (MD)

2022年7月にイスマイル・サブリ前首相が、上述のMSCの後継戦略として発表したのがマレーシア・デジタル (MD) です。イスマイル前首相は、MDを「絶えず進化するIT環境の変化により順応させ、デジタル国家としての基盤を構築するもの」とし、投資や人材を呼び込み、地場企業や人材のデジタル経済への参画の後押しを目的に立ち上げられました。このMDはMDECと通信マルチメディア省内に設置されたマレーシア・デジタル調整委員会 (MD-CC) が主導するプロジェクトです。

### MD ステータス

MDに伴い、1996年から続いていた「MSCステータス」は「MDステータス」へと一新されました。少人数、小規模での操業が多いテック関連企業の実態に合わせ、知識労働者の雇用人数、最低資本金の要件、年間の事業経費額が大幅に緩和された他、特定エリアへの事業所設置の制限が撤廃され、より柔軟な制度となっています。

2024年2月時点で、MDステータス取得企業は約4,000社にのぼり、うち外国企業が3-4割を占めています。

### 主な優遇措置

- 1) 外国人知識労働者の割り当て、雇用パス
- 2) 税制上の優遇措置 (所得税免除または投資税額控除)
- 3) マルチメディア/ICT機器の輸入関税、売上税免除
- 4) 競争力のある整備されたインフラの利用 (MDサイバーシティ/サイバーセンター入居企業向け)
- 5) ローカルオーナーシップ要件の免除によるオーナーシップの自由
- 6) グローバルな資金調達、借入れに対する柔軟性
- 7) MDECがMDステータス企業のためのワンストップ機関となる

また、MDが特に注力する分野として以下の9つが挙げられています。

- ・デジタルツーリズム
- ・イスラムデジタル経済
- ・デジタル貿易
- ・デジタル農業
- ・デジタルサービス
- ・デジタル都市
- ・デジタル医療
- ・デジタル金融
- ・デジタルコンテンツ



### DE ランタウ

MD の初期プロジェクトの 1 つとして始まったのが、マレーシアのデジタルノマドの拠点化を目指した「DE ランタウ」です。マレーシアでは、日本のパスポートを持っている場合、観光目的の滞在であればビザなしで 90 日間の滞在が可能です。90 日を超える滞在をする場合は、雇用パスや一時就労パスなど滞在期間や目的に合わせたビザの取得が必要となりますが、この 2 つのビザについては、マレーシアの企業に籍を置くことが取得の条件となります。



DE ランタウプロジェクトにより 2022 年 10 月から申請が始まった DE ランタウ・ノマドパスは、デジタルノマド向けのビザで、これを取得することで、マレーシアに滞在し、オフィスを持たず働きながら生活することができます。滞在期間は 3 ヶ月から 12 ヶ月で、更に 12 ヶ月間の延長が可能ですので、延長期間も含めると最長で 24 ヶ月間の滞在が可能となります。さらに、本人だけではなく、配偶者や子どもの同伴ができるため、このビザが取得できれば家族揃っての移住を検討することも可能です。また、滞在エリアの指定もないため、国内の好きなところで仕事ができるのがこのビザの魅力です。

以下が、デジタルノマドビザの申請のために設けられている条件です。

年齢	18 歳以上
年収	年収 USD24,000 以上 (約 350 万円)
業種	<ul style="list-style-type: none"><li>・IT 関連 (ソフトウェア開発、UX、UI、クラウド、サイバーセキュリティ、ブロックチェーン、AI・機械学習、データ関連)</li><li>・デジタルマーケティング</li><li>・デジタルクリエイティブコンテンツ</li><li>・デジタルコンテンツ開発</li><li>・デジタル領域関連業務全般</li></ul>

<b>就業形態</b>	・デジタルフリーランス（個人事業主契約期間3か月以上の有効なプロジェクトがあること） ・フルタイム、パートタイムのリモートワーカー（企業の従業員だが、物理的にオフィスにいる必要はない）
-------------	---

ITの専門性を持っていることが条件の1つですので、誰でも取得が可能なビザではありませんが、条件に該当する方にとっては、1年を通して温暖なマレーシアで仕事に専念することができるこのビザは、非常に魅力的なものではないでしょうか。

マレーシア政府としては、このノマドビザが、IT関連の技術を持つ人材に、まずはマレーシアへ来てもらい、その後、将来的に同国で自身の事業を展開、会社を立ち上げるというゴールに向けての第一歩となることを期待しています。

### 【最後に】

ここまでご紹介してきたように、マレーシアでは国を上げてIT業界のさらなる発展に力を入れており、外資企業や人材の誘致に非常に積極的な姿勢を見せています。今後、世界的に重要度が高まりもさらなる成長が期待される東南アジアのIT業界ですが、ビジネス面での整備がされているだけでなく、整ったインフラや物価のやすさ、英語が通じる点など、マレーシアには他の東南アジアの国にはない優位性が多くあります。IT企業だけでなく、フリーランサーや個人事業主の方も、事業を行う先としてマレーシアを検討されてみてはいかがでしょうか。

### □ ■ タイの麺料理「クイッティアオ」 ■ □

こんにちは。島根ビジネスサポート・オフィスのタイ人スタッフ、バンブーです。

タイの主食はお米ですが、麺料理の「クイッティアオ」はタイの国民食と言われています。料理について簡単に説明すると、クイッティアオはタイ風のラーメンですが、日本のものとは異なり、麺やスープの種類がたくさんあり、「麺」+「具」+「スープ」を自分の好みで選ぶことができます。



自分の好みに合わせたラーメンを作ってもらうのがタイのスタイルです。クイッティアオのお店は、基本的に専門店であることが多く、屋台や食堂、フードコートなどで手軽に食べることができます。この記事では、クイッティアオの麺やスープの種類などを紹介します。

#### 【麺の種類】



センミー：米から作られる直径 1mm 以下の細い麺

センレック：米から作られる直径 1~3mm の中幅麺（パットアイによく使われます。）

センヤイ：米から作られる 1.5~2.5cm ほどの太麺（他の麺と違い生麺を使用します。）

ギアムイー：米から作られる、うどんを短く千切ったような形の麺

バミー：小麦粉から作られる卵入りの黄色の麺（日本のラーメンとほぼ同じです。）

ウンセン：緑豆粉とタピオカでんぷんから作られるタイの春雨

センママー：インスタント麺



**【スープの種類】**

ナムサイ：1番ベーシックな醤油味であっさりとした透き通ったスープ

トムヤム：甘酸っぱいトムヤムクンに似たスープ

エンタフォー：腐乳（豆腐を紅麴で発酵させたもの）入りピンク色のとろみのあるスープ

ナムトゥク：牛や豚の血が入った味わい深いスープ

トゥン：五香粉、八角などを使った中華風スープ

ヘーン：汁なしラーメン（麺はバミーを使うことが多いです。）

※ お店にもよりますが、お好みでスープありのものをスープなしに変更することもできます。



トムヤム



エンタフォー



ヘーン



ナムトゥク



トゥン



ナムサイ

### 【具材の種類】

ルークチン：魚のすり身やお肉から作られるタイのつみれ

つみれ揚げとつみれ煮を売っているお店もあります。

ギアオ：海老のすり身のワンタン

お店によって具材は異なります。

ギアオ・トート：皮を油でカリッと揚げたワンタン

トムヤムやエンタフォーなどによく入っています。

豚肉・鶏肉・牛肉・鴨肉の煮込み：柔らかく煮込んだお肉

野菜：ねぎ・パクチー・もやし・空心菜など（野菜抜きで注文ができます。）



### 【調味料】

クイッティアオのお店の卓上には基本的に4種類の調味料が置かれています。注文したクイッティアオを好みの味に調整できます。また、調味料は地方によって異なる場合もあります。



上の画像の調味料を左から順番に説明しますと

- ① プリック・ナムソム（唐辛子入りのお酢）：酸味と辛みを加えます。
- ② プリック・ポン（粉唐辛子）：辛味を加えます。
- ③ ナムターン（砂糖）：甘味やまろやかさを加えます。
- ④ ナンプラー（タイの魚醤）：塩味と旨味を加えます。

タイには数えきれないほどたくさんの種類のクイッティアオがあります。この他にも地方によって様々なクイッティアオがありますので、その一部をご紹介します。

- **クイッティアオ・クアガイ**：下味をつけた鶏肉を、もちもちの太麺（センヤイ）や卵と炒めた麺料理です。イカなどのシーフードを入れるお店もあります。タイの淡口醤油やオイスターソースなどで味付けされ



た優しい味わいの、モチモチ、カリッとした食感の麺料理です。辛い味が好き人はチリソースをかけて食べるのがおすすめです。

- **パツシーイウ**：黒糖に似た甘みを持つタイの醤油「シーユーダム」で麺に味付けをし、最後にシーユーカーオ（白醤油）、ナンプラー、オイスターソースなどで仕上げます。パツシーイウの1番の特徴は麺の太さです。センヤイと呼ばれる極太の生米粉麺が使われます。具は豚肉と卵、カイラン菜とシンプルですが、シーユーダムを使うことで、単なる醤油焼きそばではなく、コクのある味に仕上がります。
- **パツタイ**：センレックを炒めた「タイ風の焼きそば」です。タイ料理特有の辛さがなく食べやすいことから外国人観光客にも大人気の料理です。鉄板で焼かれた香ばしさと野菜のシャキシャキ感、もちりとした食感の平打ち麺、甘酸っぱいソースが特徴です。タイ料理はライムで酸味をつけることが多いのですが、酸味の中にも甘味があるタマリンドを使うことでパツタイの味がマイルドに仕上がります。エビやもやし、ニラ、卵、干しエビ、厚揚げを加え、ナンプラー、醤油、パームシュガーで味付けて、仕上げに砕いたピーナッツを散らし、ライムを搾って完成です。
- **パツキーマオ**：激辛タイ料理のひとつです。材料は野菜、センヤイという太いきし麺のような米粉で作った麺、ハーブ、もちろん唐辛子にエビやイカ、豚肉などです。これらをナンプラーやオイスターソースで味付けし炒めた麺料理です。使われる野菜の種類はお店によって様々です。辛さレベルも選べます。



- **ホッケンミー**：タイ南部にあるプーケットの名物料理です。ホッケンミーは漢字で書くと「福建麺」で、プーケットは錫の産地で有名ですが、発掘のために移住してきた中国人が福建麺（ホッケンミー）を作ったのが始まりといわれています。ホッケンミーはマレーシアでもよく食されていますが、マレーシアはオイスターソースで太麺を炒めた真っ黒な焼きそばのような料理で、プーケットのホッケンミーとは味も見た目もまったく違います。プーケット風は少量のスープで豚肉やシーフードと太麺を炒めた、ラーメンと焼きそばの中間のようなスタイルが特徴です。



- **パットミーコラート**：通称「コラート」とよばれる、ナコンラーチャシーマー県で広く食べられている料理です。センレックという麺を使うので、見た目はパットタイに非常によく似ています。パットタイはエビやもやし、ニラ、卵、干しエビ、厚揚げを具材にして、ナンプラー、醤油、パームシュガーで味付けをしますが、パットミーコラートとは違いがたくさんあります。

パットミーコラートには、独自に作った米麺を使い、エビや卵は入れず、代わりに鶏肉や豚肉を使います。また、シーユードム（黒蜜のように甘くて濃厚な醤油）というタイの醤油で味付けしていますので、通常のパットタイよりも甘みが強く濃厚な味わいが特徴です。

パットミーコラートには、独自に作った米麺を使い、エビや卵は入れず、代わりに鶏肉や豚肉を使います。また、シーユードム（黒蜜のように甘くて濃厚な醤油）というタイの醤油で味付けしていますので、通常のパットタイよりも甘みが強く濃厚な味わいが特徴です。

### 【最後に】

クイットィアオの魅力は、種類が豊富な点と好みに合わせてカスタマイズ可能な点です。具材やスパイスの量を調整することで、自分好みの味に仕上げることができ、異なる味わいやテクスチャーを楽しむこともできます。また、香辛料とハーブを使った味わい深さがあり、タイ料理の中では比較的ヘルシーな料理としても知られています。特に地元の屋台で食べることで、手軽に楽しむことができ、地元の食文化や雰囲気を楽しむことができます。

いくつかのタイの麺料理を紹介しましたが、様々な種類のクイットィアオが存在し、地域それぞれの特色もあり、タイ料理の多様性を体現しています。ぜひ皆さんもタイで好みのクイットィアオを探してみてください。

※別紙に、年内に開催予定のタイ・インドネシア・ベトナムの展示会情報をまとめました。

サポートオフィスでは、現地で開催される展示会へのアテンドも行っております。

関心のある展示会がございましたら、お気軽にご連絡ください

担当：神谷 靖子 Yasuko Kamiya

Address: 1 VASU1 Building, 12 FL., Room 1202/D, Soi Sukhumvit 25,

Sukhumvit Rd., Klongtoey-Nua, Wattana, Bangkok 10110

▶ タイ経済指標

項目	単位	2021	2022	2023	2024
GDP 成長率	前年比ベ (%)	1.8	2.7	1.9	1.9 (2023 年)
人口*	千人	68,161	69,922	70,104	70,104 (2023 年)
労働者の数*	千人	38,631	40,143	40,674	40,674 (2023 年)
失業率**	%	1.94	1.32	0.98	0.98 (2023 年)
最低賃金* バンコク	バーツ/日	331	353	353	363
チョンブリー		336	354	354	361
アユタヤー		325	343	343	350
ラヨーン		335	354	354	361
賃金：全国製造業の平均	バーツ	13,506	14,305	14,416	14,416 (2023 年)
インフレ率**	前年比ベ (%)	1.24	6.08	1.23	1.23 (2023 年)
中央銀行政策金利*	%	0.50	1.25	2.50	2.50 (2 月)
普通貯金率**	%	0.25	0.28	0.40	0.43 (2 月)
ローン金利 (MLR) **	%	5.42	5.50	6.83	7.17 (2 月)
SET 指数*	1975 年 : 100	1,657.62	1,668.66	1,415.8 5	1,370.67 (2 月)
バーツ/100 円**	バーツ	29.15	26.78	24.82	24.06 (2 月)
バーツ/米ドル**	バーツ	31.98	35.06	34.80	35.52 (2 月)
円/米ドル**	円	109.8	131.38	144.07	149.42 (2 月)
車販売台数 (1 月からの累計)	台数	736,716	856,057	702,921	58,336 (1 月)
BOI 認可プロジェクト	件数	1,572	1,554	2,383	2,383 (2023 年)
BOI 認可プロジェクト金額	10 億バーツ	511.9	618.62	750.12	750.12 (2023 年)

\*期末、\*\*平均